

沿革

- 昭和 13. 1. 22 東京府立第十一高等女学校として設立認可、有原末吉初代校長に補せられる。
- 昭和 15. 4. 10 現校舎へ移転。(職員・生徒約 800 名)
- 昭和 16. 4. 1 東京府立桜町高等女学校と改称。校旗・校章制定。
- 昭和 18. 7. 1 東京都制施行により校名を東京都立桜町高等女学校と改称。
- 昭和 23. 4. 1 都条令第 42 号により東京都立桜町新制高等学校と改称。夜間課程を定時制と定め、定時制課程第 1 学年を募集 (定員 100 名)。定時制課程第 1 回入学式挙行。
- 昭和 23. 5. 15 現校歌・現校章制定。
- 昭和 24. 4. 1 男女共学実施。定時制第 4 学年を募集 (学級編成第 1、第 2、第 4 学年となる)。
- 昭和 25. 1. 26 東京都立桜町高等学校と改称。
- 昭和 25. 3. 6 定時制第 1 回卒業式挙行。
- 昭和 28. 12. 6 定時制後援会結成 (初代会長 喜多村吉五郎)。
- 昭和 36. 8. 15 北校舎 (木造) 一部焼失。
- 昭和 42. 12. 1 グラウンド照明完成。
- 昭和 47. 3. 31 鉄筋校舎改築第五期工事完了。体育館・食堂工事完了。
- 昭和 50. 4. 1 プール工事完成。
- 昭和 55. 9. 30 体育館内に柔道室・剣道室・トレーニング室竣工。
- 平成 4. 11. 11 新校舎 (現校舎) 落成記念式典挙行。
- 平成 5. 4. 1 定時制 1 学年 1 学級編成となる。
- 平成 8. 4. 1 定時制 全学年が単学級となる。「校内研修改善推進校」に指定される。
- 平成 9. 4. 1 定時制 「スクールカウンセラー活用調査研究委託事業」に指定される (平成 9～11 年度)。
- 平成 12. 4. 1 定時制 3 年修了制導入、「校内研修改善推進校」に指定される。
- 平成 18. 4. 1 都立翔陽高校長 渡部静夫 19 代校長に補せられる。
- 平成 21. 1. 9 定時制 創立六十周年記念式典挙行。
- 平成 21. 3. 31 渡部校長退職。
- 平成 21. 4. 1 都立九段高校長 山崎正己 20 代校長に補せられる。
- 平成 25. 3. 31 山崎校長退職。
- 平成 25. 4. 1 都立成瀬高校長 有馬利一 21 代校長に補せられる。